

申20号「エルダー社員制度」の改善に向けた 申し入れの交渉を実施！

組合 劣悪な作業条件を緩和するため、年間休日は114日を基本とすべきだ！

会社

グループ会社の再編時に、年間休日 114 日と 109 日とした。114 日になれば良いが、グループ会社の体力もある。最終的には、労働条件も収入も確保することが望ましい。

本体並の年間休日が望ましいという会社の認識を確認！

組合 経験の無い職種に就く場合は不安だ。本体で事前に教育すべきだ！

会社

不安は人それぞれであるが、系統をまたいだり、全くやったことのない仕事に対して教育が必要なことは理解できる。今後も必要な場合は教育を行う。

系統を超える場合、必要により事前教育を行うことを確認！

組合 事前説明と現実には大きなギャップがある。正しい情報を事前に説明すべきだ！

会社

間違った情報を流さないよう、正しい情報の提供に努力する。
支社や現場長に対しても指導していく。

正しい情報提供のために、努力・指導していくことを確認！

組合 事情により途中でその会社で働けなくなっても、働き続ける意思がある人には、65歳まで再雇用先を斡旋すべきだ！

会社

JR 本体で再雇用し出向しているので、65 歳まで本体が責任を持つ。一度提示した会社で働いてもらうのが基本である。しかし、体調の問題、家族の問題などにより、稀だが出向先を変えることはある。そうした場合は、まずは出向先で相談してほしい。

65 歳まで再雇用している本体が責任を持つことを確認！

交渉のかわりに、「多くのエルダー社員が 65 歳よりも前に辞めてしまう会社には問題があり、本社としてしっかりと指導すべきであること」、また、「何か問題が発生した場合には、本部として本社に指摘していくこと」を申し述べて交渉を終了しました。

安心して働ける環境を目指し、職場からたたかいをつくりだそう！